

JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験 UT2 実技試験における試験体変更について (続報)

2025年秋期より、UT2の実技試験で使用している曲面材試験体(斜角)を鍛鋼品試験体(垂直)に変更いたします。現在は曲面材試験体を使用していますが、実技試験の運用上、鍛鋼品試験体に変更することにしました。

1. 試験体変更の内容

下表のとおり UT2 実技試験の試験体の変更を行います。(※赤字が変更箇所です。)

	現在の試験				変更後の試験			備考
	試験体	探傷方法	試験時間		試験体	探傷方法	試験時間	
①	板材試験体	垂直探傷	15分	⇒	板材試験体	垂直探傷	15分	(変更なし)
②	T継手(溶接)試験体	斜角探傷	40分	⇒	T継手(溶接)試験体	斜角探傷	40分	(変更なし)
③	曲面材(溶接)試験体	斜角探傷	30分	⇒	鍛鋼品試験体	垂直探傷	20分	JIS G 0587:2007に従い、DGS線図を用いたきずの推定を行う。

鍛鋼品試験体の概要

形状	材質	概略寸法
角材	炭素鋼	L 100mm × W 100mm × H 約 90mm

鍛鋼品試験体に使用する探触子の概要

公称周波数:2MHz、振動子寸法:直径 20mm、接栓:Lemo(小)

2. 試験体変更のスケジュール

下表のスケジュールにより、試験体変更を行います。

	年	2024年	2025年				2026年
	月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
再認証試験	2025年春期	10月受付	再認証	再認再①	再認再②		
	2025年秋期			4月受付	再認証	再認再①	再認再②
二次試験	2025年春期		1月受付	二次試験			
	2025年秋期				7月受付	二次試験	

青いセル: 変更前の試験体

黄色いセル: 変更後の試験体

- 再認証試験では、2025年秋期(2025年7~9月)から変更後の試験体で試験をします。
 ※2025年春期再認証再②(2025年7~9月)につきましては、変更前の試験体で実施します。
- 新規二次試験では、2025年秋期(2025年10~12月)から変更後の試験体で試験を実施します。

以上